

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第10期 第2年 第4回 第1日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2016(平成28)年1月17日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 24人

張 氷青、葉 元聡、任 家林、劉 健全、王 夕心、金 スンオグ、孔
敏淑、崔 想、河 相宇、ヴァイラマー ジェリー、タカハシ ライゼール
ラモス、牟 鳳菊、グエン ゴク バオ リン、なかだ しりわん、ひらちゃん
アスカ、ケゼングア エドワード、セヌー ジョアキム、鈴木 イエレナ、
バルトコバ オクサナ、園田 泉 ベアトリス、かわもと ふあびお よしのり、
シフケン ブランドン、オルソン チャールズ、ディットマー ダニエラ

(2) 事務局

石川 室長、町田 担当課長、八木 担当課長、須藤 課長補佐、小田切 担当
係長、丸橋 職員、鈴木 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 3人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

セヌ一委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2015年度第4回第1日を開催する。今日はヘイさんと童さんから欠席の連絡が届いている。それでは、今日の日程と配付資料の確認をお願いします。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

セヌ一委員長「続いて、前回会議のまとめについて事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

セヌ一委員長「それでは、議事に入る。まずは年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料2に基づき説明。)

セヌ一委員長「今の事務局の説明について、意見や質問はあるか。(なし)ないようなら、次の議事に進みたい。では、全体での提言について、審議したい。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明。)

セヌ一委員長「これまでのみなさんの審議、またオープン会議で、特にワークショップをした成果をまとめたものが資料3になっている。質問や意見をどうぞ。」

園田部会長「2つある。2ページのMYプラザの表記だが、小文字ではなく大文字だ。それと3ページの(5)『地域の中で孤立し』というのは外国人市民だけにかかっていると思うが、日本人で孤立している方も利用できればと思うのだが。」

セヌ一委員長「事務局、説明をお願いします。」

事務局高橋専門調査員「ラウンジが実現した場合、利用者は外国人だけではなく、日本人もというのはこれまでのみなさんの意見として理解しているつもりだ。一方で、あまり『誰にとっても』としてしまうと、この会議がまずは外国人の抱える問題を改善するためのものだという部分が見えなくなってしまう。この部分では『孤立している外国人』という問題を扱っているが、全体としては、『外国人だけに限らず』とした。」

園田部会長「全体として、いろいろな方が利用できるということになっているので、了解した。」

ケゼンダア委員「3ページのラウンジ構想のイメージの図のところで、私たちの提言の中では国際交流協会に重要な役割を担ってもらいたいと考えているが、それがあらわされていない。うまくイメージに入れられないか。」

事務局高橋専門調査員「今すぐにはイメージが思い浮かばないが、了解した。修正するようにしたい。」

張委員「『まずはできるところから、できる範囲でラウンジを設置し』の部分に『できる範囲でまずラウンジを1つ設置し』と、『1つ』を入れた方がよいのではないか。」

セヌー委員長「オープン会議でも市内に複数あった方がよいという意見が多かったと思うが。」

張委員「もちろん複数の方がいいと思っているが、最初から複数つくるのは無理だと個人的に思っている。」

セヌー委員長「事務局、説明を。」

事務局高橋専門調査員「複数としていても、実際には『まず1か所』ということになる可能性は高いだろう。逆に明確に『1つ』と書いてしまうと、もしかしたら『1つ』つくれば達成できたということになってしまうかもしれない。あえて『1つ』と書くメリットが感じられないのだが、どうだろうか。」

張委員「今の説明で納得した。」

葉委員「よくわからないのだが、優先的に設置すべき場所など具体的に書いた方がよいのか。たとえば、登戸など。」

セヌー委員長「事務局、どうか。」

事務局高橋専門調査員「提言には具体的な場所は書かない方がよいと思う。北部に拠点となるような場所が必要くらいは書いてもよいと思うが。」

葉委員「それでよいと思う。」

ディットマー委員「たとえば、外国人人口が多いのに拠点がいないことが課題と書いたらどうだろうか。」

セヌー委員長「事務局、お願いする。」

事務局高橋専門調査員「横浜のつづきMYプラザに行ったときの話では、都筑区はとくに外国人人口が多いわけではない、とのことだった。多いところに必要というのは当然だが、一方で少なくとも必要とも言える。少ない方が孤立しやすかったりもする。」

(その他、細かい文言等について質問・意見)

事務局高橋専門調査員「いろいろ指摘をいただいたので、もう一度文章を修正したい。次回は最後の会議なので、できるだけ会議より前にみなさんに送って意見をもらうことにしたい。」

セヌー委員長「お願いする。それでは、部会審議に移る。社会生活部会はこのままレセプションルーム。福祉教育部会は第1会議室に移動をお願いする。全体会の再開は16時25分だ。」

【福祉教育部会】

園田部会長「時間になったので、福祉教育部会を始める。まずは事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料4-1に基づき説明。)

園田部会長「何かあるか。」

金委員「子育てガイドブックで、『またそのような配慮のないものもある』のところで『配慮さえ』と『さえ』を入れるのはどうか。」

事務局高橋専門調査員「強調したい気持ちは分かるが、『さえ』は強すぎる。受ける側からするとやや攻撃的な印象がする。提言では課題を指摘するのはよいと思うが、あくまでも建設的に改善策を提案すべきだと思う。批判が前面に出してしまうのはあまりよくないと思う。」

園田部会長「今のも含めて何かあるか。(なし)子育て支援については、これでよいか。(異議なし)それでは、次は高校進学だ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料4-2に基づき説明。)

園田部会長「前回の意見が反映されていると思うが、何かあるか。」

(細かい文言等について質問・意見)

園田部会長「他になれば、部会として決をとりたい。今日出た意見を踏まえて、部会の提言として確定してよいか。(全員賛成)それでは、これで福祉教育部会を終わりにする。」

【社会生活部会】

任部会長「それでは、社会生活部会を始めたい。さっそくだが、事務局から説明をお願いする。」

(事務局丸橋職員が資料5-1に基づき説明。)

任部会長「何か質問や意見はあるか。」

葉委員「住宅基本条例の大家への周知には賛成だが、周知できたかどうかの検証がでないという意味がないのでは。」

デイトマー委員「店舗などにポスターを貼ってもらえばよいのではないか。」

張委員「不動産屋にパンフレットを置いてもらったらいい。」

任部会長「それと棒グラフだと文字が多くて読みにくいので、円グラフの方がよいのではないか。」

タカハシ委員「1ページのグラフは100%にならないので、円グラフには適さない。3ページは円グラフの方が分かりやすいかもしれない。」

オルソン副委員長「私はこのままでも十分理解できると思う。少ないところが見にくいというよりも、78%ぐらいが制度を『知らない』というところがポイントだろう。」

任部会長「多数決で決めたい。円グラフにするのに反対の人は挙手を。(反対少数)では、円グラフに修正してもらうことにする。他に修正の要望はあるか。(なし)では、次にやさしい日本語に移りたい。事務局から説明をお願いする。」

(事務局丸橋職員が資料5-2に基づき説明。)

任部会長「質問や意見をどうぞ。」

張委員「前回、絵やイラストがあると分かりやすいと話したと思うが、ガイドラインの中にも絵やイラストについて書いた方がよいのではないか。」

任部会長「4ページに、イラストや絵を使って、視覚的に分かりやすいものになるよう工夫している自治体もあるということが書いてある。これで伝わるのでは。」

孔委員「事務局に聞きたいのだが、去年、市役所で『やさしい日本語』の講座があったかと思うが、その時の講師の人はどういったところが大切だと言っていたか教えて欲しい。」

事務局丸橋職員「講座の中では、文章をやさしい表現に直すだけでなく、イラスト等を用いることでより視覚的に分かりやすくなるという話があった。」

任部会長「ガイドラインの中に絵やイラストについて、書き入れるかということだが、内容が膨らんでしまうと表現が難しくなるのではないかと思う。」

デイトマー委員「1番のガイドラインというのは、あくまでも基本となる『やさしい日本語』の作成についてだ。絵とかイラストを入れるのは、もちろん賛成だが、それはあくまでも2番の『市ホームページの改善と充実』についてだと思う。川崎市のホームページにもそういうことを期待していますとかもっと強調してもよいのではないかと思う。」

河委員「ガイドラインをつくる際には、『土足厳禁』を『靴を脱いでください』のように、なるべく具体的な例を載せるとよい。『やさしい日本語』という、ただ平仮名にすればよいと思っている人もたくさんいると思う。それと、市のホームページ以外のものでも『やさしい日本語』を普及させて欲しい。」

葉委員「3ページのグラフだが、ぱっと見てよくわからない。しっかり文章を読めば理解できるが。グラフを分かりやすく加工したらどうか。」

ドイツマー委員「『テレビ』や『区の窓口、市政だより』など少ない項目は削って、多い順に並べればよい。」

オルソン副委員長「私はこのままがよいと思う。比較するためには、少ないものも必要だ。」

任部会長「必要なものだけに減らした方がよいという人はいるか。（2人）順番を入れ替えることに反対の人はいるか。（なし）では、順番の入れ替えだけ修正をお願いする。」

（その他、細かい文言等について質問・意見・調整）

任部会長「これで社会生活部会を終わりにする。次回は提言案の最終チェックだ。」

【全体会】

セヌー委員長「それでは、全体会を再開する。まずは部会報告だ。福祉教育部会からお願いする。」

園田部会長「今日は前回出た修正意見が反映されているのかの確認を中心に行った。修正箇所を確認して、細かな文言などでいくつか調整をして、決をとり、全員賛成で提言を確定させた。」

セヌー委員長「同じ福祉教育部会から何か補足はあるか。（なし）では、社会生活部会から質問や意見はあるか。（なし）では、続いて社会生活部会からお願いする。」

任部会長「入居差別についてだが、不動産屋だけではなく大家への周知も加えてもらうことにした。それと、グラフを棒グラフから円グラフにした方がよいという意見が出た。やさしい日本語についてだが、ガイドラインの細かい内容までは提言しないことにした。大事なものは、ガイドラインを作成することとガイドラインに沿ってやさしい日本語を推進することだ。それと、こちらもグラフについて要望が出た。割合が高い順に並べ替えることにした。次回、修正を確認して決をとり、確定としたい。」

セヌ一委員長「同じ社会生活部会から補足はあるか。（なし）では、福祉教育部会から質問や意見はあるか。（なし）それでは、提言の取組状況について事務局から説明をお願いします。」

（事務局丸橋職員が資料6-1に基づき説明。）

セヌ一委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）では、事務局から事務連絡をお願いします。」

事務局丸橋職員「次回、年次報告書に載せる集合写真をとるので正装で来てください。それと、3月4日に居住支援についての研修会がある。詳細はメールでお知らせするので、関心のある人はぜひ参加をお願いします。最後に、資料と一緒に配布したアンケートを回収する。帰る時に受付に提出をお願いします。」

セヌ一委員長「私から1つ報告がある。残念ながら福田市長は都合が悪くなり、会議に来れなくなってしまったようだ。ただ、会議に来ることは前向きだと聞いているので、ぜひ11期に来てもらえればと思っている。

それでは、これで今日の議事はすべて終わりだ。次回の会議は、2月14日、日曜日、最終回になる。場所は、ここ国際交流センターだ。これで、2015年度第4回第1日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」